

町民文芸

まぐべつ

第28号・2012

特集「ふるさとの学校物語」より

忠類村立明和小学校

忠類小に次いで村内で二番目に開校。
昭和47年閉校。330名の卒業生を出した。

校庭の横には樹齢300年を超えると思われるニレの巨木があり、学校のシンボルとして子供たちに親しまれていたが、廃校となったあと枯れて姿を消してしまった。
周囲を山林に囲まれてることもあって、学校植林を積極的に実施。
十勝管内小学校学校植林コンクールで第一位、全道大会では第二位の成績に輝いた。

昭和7年 忠類尋常高等小学校幌内特別教授場として開校。

14年 明和尋常小学校となる。

16年 明和国民学校と改称。

22年 明和小学校となる。

47年 忠類小へ統合のため閉校。

